

令和6年度第1回北九州市学校給食審議会 議事概要

【日 時】 令和7年2月3日（月） 13:30～14:30

【場 所】 小倉北区役所西棟5階 504会議室

【出席者】 藤沢加代、加塩大輔、星野正俊、鈴木佐代、安倍ちか、玉井竜滋
東靖彦、岩谷かおり、高橋理恵、陰平実、横山知子、林光孝、峯隆幸
（順不同・敬称略）

【事務局】 学校支援部長、学校保健課長、給食係長、指導主事

【議 題】 給食及び給食費の状況について

■委 員

おいしい給食大作戦として、質の向上が謳われてきたが、こどもたちや先生方にどのように受け止められているか、教えていただきたい。

メニューが変わると、給食調理現場の調理員さん達の負担もあると思う。作る方たちの反応をお尋ねしたい。

夏頃までにスチームコンベクションオープンが設置完了予定とのことだが、以前からオープンを使っている学校もある。既設分の更新や機器の現状についてお聞きしたい。

新たに導入されれば、技術がいる。使いこなして給食を提供ができるのか。

オープンの大きさは、大規模校と小規模校といった食数などを考慮した設置となっているか。

全国的に学校給食の無償化が進められようとしており、福岡市では12月議会で、市長が58億円を使ってやると答弁された衝撃はかなり大きかったんじゃないかと思う。北九州市はどう受け止めたか、お答えいただきたい。

■事務局

新しい献立について賛否ご意見があるが、「新しい献立でこどもたちが興味を持って食べてくれるようになった」「給食が楽しみで、学校に来てくれるこどもが少しずつ増えてきた」といった、非常に好意的なご意見をいただくこともある。栄養教諭やこどもたちから様々なご意見をいただいているが、総じて、おいしい給食大作戦の評価としては、概ね良好なところではないかと感じている。

一方で、新しい献立は調理工程も新しく、完成形がわかりにくいというご意見もいただいている。現場の調理員の皆様へのご負担についても視野に入れながら進めて参りたい。

スチームコンベクションオープンは、作業時間が短縮できるメリットがある。全校に設置されれば、ある程度、現場の負担軽減にもつながると考えている。技術的には一定の研修が必要だが、試作の機会を設ける等している。

設置機器の大きさについても、学校規模に応じた能力の機種を設置するようにしている。

本市独自で給食費の無償化をする場合、令和6年度だと32億円。令和7年度になるともう少し金額が上がってくるかと思うが、毎年それぐらいの予算が必要になる。市が単独で財源を確保するのは、財政状況から考えても厳しいと考えている。国には、地域間格差の生じない一律的な制度の設計と財源の措置をお願いしている。国会では、野党の三党派から無償化についての法案が出され、今国会で審議されると聞いている。引き続き、国会の審議の方向性や他都市の動向を注視していきたい。

■委員

教育委員会が食育資料を作成して学校に配布しているということだが、親は見ることがない。いいものを作っているのだから、できればテトルで親に配信してほしい。親としては自分の子どもが学校で何を食べているか大変興味があると思う。PTA協議会も、保護者向けのシステム「モット」というアプリの導入を進めているので、協力しながら進めていきたい。

■事務局

テトルの配信で、容量等に差支えなければ、保護者の方にも見ていただけるツールとして活用させていただきたい。テトルの所管課（教育情報化推進課）と相談し、難しいということになれば、PTA協議会様にご相談させていただきたい。

■委員

国からの臨時交付金が、どの程度給食費の支援となっているのかご説明いただきたい。

■事務局

令和4年度から、地方創生臨時交付金を活用させていただき、令和4、5、6年と重点的に支援してきた。令和7年度も、国の方から配分される予定であり、保護者の物価高騰支援分として使わせていただく。

事務局
北九州市教育委員会学校保健課
電話 093-582-2381